

〔様式 1〕

事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日				
平成15年度	事業コード	32510	電話	042(769)8273
担当部課名	土木部	河川整備	課	管理 係
事務事業名	河川安全施設整備費			

1 総合計画における位置づけ

政策名	第2章	質の高い都市基盤の整備を進めます	事業開始年度
基本施策名	第5節	河川の整備	63以前年度
施策名	第1施策	治水対策の推進	

2 実施根拠及び関連法令等

河川法第1条, 第2条, 第16条の3, 第100条

3 事務の区分

自治事務

4 経費の区分

義務的経費

5 事務事業の分類

市単独事業

6 受益者負担

なし

7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか		(2)対象(誰、何)	
当市が管理し、改修事業を推進している河川について、工事の実施にさきがけ、先行取得した改修用地に河川への転落事故が発生しないように管理柵を設置し、市民の安全を確保することを目的とする。		市管理河川沿川市民	
		対象数	約2,000人
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容			
先行買収した改修用地に、丸太杭を設置し、鉄線を張り、立入禁止措置を行った。 管理柵設置箇所 7 箇所 延長 約292メートル			
(4)個別計画の概要		概要	
計画名			
計画年次	年度～	年度	

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

成果指標	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
	転落事故防止率	$(100 - \text{転落事故発生率}) / \text{目標安全率} \times 100$	転落事故防止率を表すことにより、買収した用地の安全度を表示する。	12	13	14	15	16
				100	100	100	100	100
活動指標	安全柵設置率	設置箇所 / 買収箇所 × 100	安全柵設置率を表すことにより、買収した用地の安全対策度を表示する。	100	100	100	100	100

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
	決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
事業費	1,023	712	748	690	690
人員・時間数	30時間	30時間	30時間	30時間	30時間
人件費	125	125	125	125	125
その他経費	0	0	0	0	0
合計	1,148	837	873	815	815
特定財源	0	0	0	0	0
対象数	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
対象の単位あたり経費	0.6	0.4	0.4	0.4	0.4

10 個別評価

(1)達成度 評価 A ▼	A : 達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B : 一部達成していない		・活動指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C : 達成していない		・事業目標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	管理柵を設置することにより、転落事故が発生していないため、目的は十分達成されている。
(2)必要性 評価 A ▼	A : 適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B : 一部適応していない		<input type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C : 適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 転落事故が発生すると、管理者の瑕疵が問われ、市民の安全を確保する観点から管理柵の設置は必要不可欠である。
(3)有効性 評価 A ▼	A : 有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B : 一部有効でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C : 有効ではない		
		説明	管理柵を設置することにより、転落事故が発生していないため、有効な手段と考えている。
(4)効率性 評価 A ▼	A : 優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B : 一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C : 改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない 年度当初に委託業者を決定し、単価契約とすることで、設計担当者の人件費削減、発注から施工までの時間が縮減でき、効果を上げている。
(5)公平性 評価 A ▼	A : 公平である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B : 一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C : 公平でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	当市が管理し、実施する河川改修事業であり、受益者は市民全体であると判断されるため、公平性が高い。
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額	
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> ない	説明： 改修工事を実施するまでに長い期間を必要とする管理地については、コスト面での課題もあるが、単管パイプ等の耐久性の高い材料を使用することも研究の余地がある。	手段	市民に対する安全を考えると、管理柵設置が必要不可欠であり、現在、コスト面でも最も安価な材料を使用しており、削減することは困難である。
		削減額	0 千円

11 総合評価

評価	AAA ▼	他自治体の類似事業との比較
		県内の他市も本市と同様に、丸太杭による管理柵を設置している状況である。
今後の進め方		
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明 ：経費的に余裕があれば、工事着手まで長い期間を必要とする管理地には、5年程度の耐久年数である丸太杭より、リサイクルが可能で耐久性が高い鉄製の単管パイプ等による施工が環境面からも望ましいと考えられるが、現在の経済状況から、当面、原状のまま推進する。
<input type="checkbox"/>	見直し	
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント

--